NCC オンコパネルシステムセット	P000038
	担当部署
NCC オンコパネル	病理

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		検査に当たり、被検者に対し本検査の目的、限界および複数のがん関連遺伝子を解析するなど、本検査の要項を説明し、被検者自身の承諾が文書で得ること。
オーダリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54．病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→ ※腫瘍内科よりご依頼下さい。
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		1）10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が 6 時間未満 48 時間以上　2）未染スライドで 6 週間以上放置されていたもの　3）コーティング加工がされていないスライドガラス
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。
検体採取の特別なタイミング	治療の前

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス	Z10 オブジェクトケース	無	10～ ※腫瘍面積による。	枚
2	血漿（EDTA-2K）	PK2	EDTA-2K	2	ml
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	オーダーがない。

保管検体の保存期間	パラフィンブロック：半永久 ＊保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　病理診断科
測定時間	１６～22 日
生物学的基準範囲	該当なし
臨床判断値	変異ありもしくは変異なし

基準値				単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

パニック値	高値	該当なし
	低値	該当なし
生理的変動要因		該当なし
臨床的意義		NCC オンコパネルシステムは、2019 年 6 月 1 日付けで保険適用を受けた「OncoGuide. NCC オンコパネルシステム」を用いて、日本人のがんで多く変異が見られる 114 の遺伝子変異を次世代シーケンサーを用いて 1 回の検査で調べることが可能。 当該検査では NRG1 遺伝子や RHOA 遺伝子など日本のがん患者で変異が見られる遺伝子も測定対象となっており、小児がんを含む固形がんに起きている遺伝子の変異を網羅的に調べることで、診断や抗がん剤の選定など治療方針決定に有用な情報を得ることが可能となる。